

故・小泉秀雄先生の野帳(4)

横内 文人*

The field books of the late Mr. Hideo Koidzumi (4)

Fumito Yokouchi

No.20 1921(大正10年度)

① 植物採集巡検時の注意

1) 標本は完全なものを採集すること

- イ. 根茎葉付きを完備するもの
- ロ. 枝は花か実のあるもの
- ハ. 胴乱の中に入れるときの心得
霧を吹きかけること

ニ. 落花し易いものは直ちに野冊に挟むこと

ホ. 帰宅後直ぐに圧搾すること

ヘ. 時々紙をとりかえること

2) 観察を鋭敏に且つ精密にすること

イ. 形態上の観察

ロ. 生態上の観察

ハ. より細かに見ること 花式を手帳にかくこと

ニ. 実地 実物を先にして本は後にすること

ホ. 生態分布上の観察調査

ヘ. 植物地理学上の観察調査

ト. 植物分布学上の観察調査

② 乗鞍岳産植物

ホソバイラクサ、ツリバナ、ミヤマリンドウ、モウセンゴケ、タガソデソウ、ミヤマガラシ、ベニバナイチゴ、ゲンナイフウロ、ヨツバシオガマ、チシマアマナ、ノウゴイチゴ、シロウマアカバナ、ゴカヨウオウレン、ツタウルシ、ネジキ、ミツバオウレン、キバナノコマノツメ、キバナシャクナゲ、ミヤマクワガタ、オヤマリンドウ、イワハタザオ、オオバノヨツバムグラ、ツルネコノメ?、コケモモ、ジャニンジン、ソクズ、サンカヨウ、ウラジロナナカマド、タビラコ、イワナシ、クワガタソウ、ミヤマナナカマド、ハクサンイチゲ、カンボク、フユイチゴ、クリンユキフデ、タカネウスユキソウ、タカネナズナ。

③ 南安曇平地産

ホッスモ、ヤナギモ、コオニタビラコ、オヘビイチゴ、サギゴケ、アギスミレ、ヒデリコ、カヤツ

リグサ、キツネアザミ、ツボスミレ、ヘビイチゴ、ミミナグサ、ツルタビラコ、タビラコ、ジシバリ、オランダゲンゲ、スミレ、シロバナスミレ、ハハコグサ、ニガナ、シラゲガヤ、タネツケバナ、カニツリグサ、キツネガヤ、スズメノチャヒキ、トダシバ、ヤブジラミ、イ、ホソコウガイゼキショウ、カモガヤ(オーチャード)。

1921年7月13日 南安曇植物調査

豊科より小倉まで カモジグサ、キリンソウ、タチイチゴツナギ、コヌカグサ、ノゲシ、メドハギ、ヤマカモジグサ、オトコヨモギ、スカシタゴボウ、アキノウナギヅカミ、シラゲガヤ、エノコログサ、ウシハコベ、ミチヤナギ、ヨメナ、コンギク、トウダイグサ、カキドオシ、ツユクサ、ミゾソバ、チダケサシ、ゲンノショウコ、クサネム、カワラマツバ、ウツボグサ、イタチハギ、イケマ、キリンソウ、カサスゲ、アカソ、ガガイモ、ノブドウ、カタバミ、キツネノボタン、ギシギシ、ノカンゾウ?、ヤブマメ、コウヤワラビ、ヤブカンゾウ、ヒロハクサフジ、エゾミソハギ、ダイコンソウ、クロウメモドキ、オニグルミ、ツルウメモドキ、サルトリイバラ、ママコノシリヌグイ、シオデ、クルマバナ、ノアザミ、クララ、オオタチヤナギ、カワヤナギ、コウゾリナ、カラマツソウ、マサキノカズラ、ウマノミツバ、アオツヅラフジ、シケシダ、ミゾイチゴツナギ、クリ、ヒルガオ、ミヤコグサ、カワラケツメイ、ノブドウ、スイカズラ、ワレモコウ、ノビル、ヌカススキ、オトギリソウ、イチゴツナギ、ツルフジバカマ、ヒロハツルフジバカマ、オオバクサフジ、スズメノカタビラ、コモチマンネングサ、コナスビ、ノダケ、ヤクシソウ、イヌビユ、イノコヅチ、ノミノツヅリ、エノキグサ、ジュウニヒトエ、ヌスビトハギ、ミズギボウシ、ニシキソウ、ネナシカズラ、カラマツソウ、ミズナラ、ニシキギ、タチツボスミレ、スミレ、マルバスミレ、ミズキ?、ホソスゲ、トラノオ、チドメグサ、アカネ、ハンノキ、ハエドクソウ、オオイヌタデ、チチコグサ、ヤマニガナ、

* 横内文人〒399-7402 松本市会田110

ノブキ?、シバ、メナモミ、ヤマノイモ、クサノオウ、メハジキ、トコロ、イヌゴマ、ミソハギ、シナノキ、ノウルシ、スズサイコ、ウメガサソウ、サデクサ、ハシドイ、シンジュ、ニレ、イチヨウ、チャンバギク、トキワハゼ?、ミズヒキ、ヤマオダマキ、カセンソウ、コブナグサ、ホタルブクロ、ドクゼリ、ヨシ、カワラサイコ、ウワミズザクラ、タニゼリ、カラスビシャク、ツリバナ、アクシバ。

7月21日 有明山 2286 m

途中。ノハナショウブ、キスゲ、ギボウシ、スイカズラ、ハクウンボク、

登山口 800 mより。アリノトウグサ、クサイ、コハウチワカエデ?、アオジクスノキ、ヒカゲノカズラ、タガネソウ、ヤマツツジ、イチヤクソウ、シシガシラ、ナガバヤナギ、アカバナシモツケ、オオカメノキ、ヤマボクチ、キバナヤマオダマキ、シラネワラビ、ウリカエデ、ツタウルシ、ベニシャクナゲ、アクシバ、ツルアリドオシ、ミヤマガマズミ、ツノハシバミ、チゴユリ、ノギラン、ウツボグサ、イヌツゲ、ソヨゴ、ミヤマママコナ、トチノキ、ウリノキ、ノブキ、ウリカエデ、ツルツゲ、ミヤマワラビ、カニコウモリ、マルバカエデ、アサノハカエデ、ツルリンドウ、トリアシショウマ、ヤブソテツ、ゴカヨウオウレン、ヒメイチゲ、ユキザサ、ムラサキシキブ、ヤマブキショウマ、ヤマツツジ、コミネカエデ、フサザクラ、クロモジ、ホトトギス、ノアザミ、オノオレカンバ、タマアジサイ、ミヤマカナワラビ、ホガエリガヤ、ショウジョウバカマ、ヤグルマソウ、タニギキョウ、エゾオオセンキュウ、サワギク、ズダヤクシュ、タマガワホトトギス、ミズ、ミヤマオトギリ、オガラバナ、アカソ、ミヤマシキミ、イワガラミ、ゼンマイ、ノガリヤス、クルマムグラ、オオバノヨツバムグラ、ツガ、ホザキカエデ、ミヤマカンスゲ、ニワトコ、ヒノキ、コバノトネリコ、ホソバトウゲシバ、ノリノキ、ミヤマカラマツ、イワセントウソウ、ギンリョウソウ、タチカメバソウ、タムシバ、オオヤマレンゲ、

白川滝。モミジカラマツ、キンコウカ、ワレモコウ、ヤマブキショウマ、ダイモンジソウ、アカバナシモツケ、ナツノタムラソウ、オサシダ、シロバナニガナ、ハクサンオミナエシ、ミヤマオトギリ、ニガナ、クガイソウ、

大岩石。ダイモンジソウ（葉裏赤紫）、ユキワリソウ、ムシトリスミレ、イトイ、ウスユキソウ、ヒメイワカガミ、イワカガミ、イワインチン、オオバ

キスミレ、ノギラン、オオバスノキ、シロバナコメツツジ、フクロシダ、エゾノヨツバムグラ、ヒトツバヨモギ、ミヤマカラマツ、ゴボウアザミ、モウセンゴケ、ニガイチゴ、アカモノ、ミヤマチドリ、コトロボソウ、ハクサンコゴメグサ、ギボウシ、ムラサキニガナ、チャボゼキショウ、キンコウカ、ネバリノギラン、エンレイソウ、ミヤマオトギリ、イワナシ、オオバスノキ、ムラサキヤシオツツジ、

上る。リョウブ、ノギラン、シロバナシャクナゲ、アカミノイヌツゲ、アスヒカズラ、イワカガミ多し、ミヤコザサ、ヒメコマツ、ヒノキ、コメツガ、ツルリンドウ、コメツツジ、ナナカマド、オシャグジデンド、サラサドウダン、ツルリンドウ、ヒメスギラン、ミヤママタタビ、アキノキリンソウ、キソチドリ、ミヤマチドリ?、オオカメノキ、ノリノキ、シシガシラ、オサシダ、ミヤマシシガシラ、クロベ、ウラジロハナヒリノキ、ミヤマウラボシ、シロバナシャクナゲ、コミヤマカタバミ、アカモノ、ミネカエデ、ネコシデ、タケシマラン、マイヅルソウ、ゴゼンタチバナ、

初めて尾根に登る。ゴカヨウオウレン、

昼食。頂上に向かう。ツリガネツツジ、ミヤマママコナ、クロベ、タカネナナカマド、アスヒカズラ、ヒメコマツ（ゴヨウマツ?）、サラサドウダン、イチヨウラン、ミヤマママコナ、イワカガミ、ミヤマハンノキ、ハナヒリノキ、オオバスノキ、シロシャクナゲ、ネバリノギラン、クロウスゴ、ミツバオウレン、コメツガ、ハイマツ、コケモモ、

絶頂。カラマツ、ダケカンバ、アカモノ、ヤマハハコ、シラベ、クロベ、ゴゼンタチバナ、イワカガミ、オオバスノキ、イワナシ、ナナカマド、ヒメスゲ、ヒメノガリヤス、ツリガネツツジ、

下る。イトイ、タネツケバナ、マイヅルソウ、シラタマノキ、シロバナニガナ、シラカンバ、オオミゾホオズキ、

滝の辺り。ミヤマハタザオ、クリンユキフデ、シロバナヘビイチゴ、オケラ、モミジカラマツ、エゾオオセンキュウ、クルマムグラ、イワアカバナ、ノリクラアザミ、センジュガンピ、ナガジラミ、ハクサンサイコ、クサボタン、エゾキンバイ、クガイソウ、

中房温泉。湯付近。ミヤマクワガタ、ハクサンサイコ、ミヤマママコナ、ウシノケグサ。

7月22日 燕岳登山。

イケマ、コウモリカエデ、オトギリソウ、ニガイチゴ、ミヤマウラジロイチゴ、ミヤマワラビ、ミヤ

マカンズゲ、シラカンバ林、タラノキ、カワラマツバ、ホツツジ、シノブカグマ、イワカガミ、シシガシラ、ワラビ、キイチゴ、マンネンズギ、ミヤマタタビ、ヒカゲノカズラ、アスヒカズラ、ノリノキ、シラタマノキ、ゴゼンタチバナ、ヤシャブシ、ミヤマチドリ、タニギキョウ、ミヤマナルコ？、オオカメノキ、ミヤマワラビ、シロシャクナゲ、イタドリ、ツクバネソウ、オガラバナ、イチヤクソウ、タケシマラン、ツルアジサイ、タカネザクラ（チョウジザクラ？）、ヨツバヒヨドリ、コシアブラ、ネコシデ、ナガバダケカンバ？、ニガイチゴ、

針葉樹帯。ゴヨウマツ（ヒメコマツ？）、イワナシ、ミヤマツツジ、サラサドウダン、ツルツゲ、キソチドリ、ゴカヨウオウレン、トウヒ、カラマツの老樹あり、トゲブキ、アカモノ、ナナカマド、カニコウモリ、ツマトリソウ、ウラジロナナカマド、ミヤマハンノキ、ダケカンバ、ツガ密生す、ミツバオウレン、小屋の下より、トゲブキ、ユキザサ、

小屋。エンレイソウ、モミジカラマツ、ハリスゲ、ユキザサ、ゴゼンタチバナ、コウモリソウ、シラネワラビ、タケシマラン、マイヅルソウ、イワカガミ、オオバショリマ、オオバユキザサ、ツマトリソウ、クロツリバナ、ミツバオウレン、オオバスノキ、ウサギシダ、サンカヨウ、タカネナナカマド、ウラジロナナカマド、オガラバナ、オオバギボウシ、ミネカエデ、ハクサンボウフウ、シロバナイワカガミ、トウヒレン、ベニバナイチゴ、カラマツソウ、コバイケイソウ、

ハイマツ帯。ミネハリイ、ハクサンボウフウ、ヌカボシソウ、ニガナ、トウヒレン、

△点に達す。クロマメノキ、シナノキンバイ、ショウジョウスゲ、コガネイチゴ、ヒメイチゲ、ムカゴトラノオ、ズダヤクシュ、オンタデ、ウラジロイタドリ、タカネスイバ、トゲブキ、コガネイチゴ、イワハタザオ（ヤマハタザオ？）、クロクモソウ、ヒメクワガタ、タカネヨモギ、ハクサンチドリ、ウメバチソウ、ミヤマホツツジ、

昼食。タカネキスミレ、ミヤマキンバイ、ウラジロタデ、イワウメ、チシマギキョウ、タカネツメクサ、コマクサ、トウヤクリンドウ、オオサクラソウ、コマクサ、タカネニガナ、シコタンソウ、イワヒゲ、ミヤマタネツケバナ、イワウメ、ミヤマコウボウ、

下る。アオジクスノキ、イチヨウラン、ヤハズハンノキ、シナノキイチゴ、シロバナニガナ、ヤマウルシ、イタヤカエデ、オノオレカンバ？、ウメガサソウ、ヒカゲスゲ、ミズナラ、ゼンマイ、ウスユキ

ソウ、ニガナ、ハクサンオミナエシ、ギボウシ、ウリカエデ、イヌツゲ、コギボウシ？、イワニガナ、ヤマウルシ、ナツノタムラソウ、タニウツギ、

橋側。スズメノヒエ、ヌカボシソウ、ミヤマハタザオ、ミヤマクワガタ、ウシノケグサ、ハクサンサイコ、ハハコグサ、ミヤマママコナ、ミヤマタニソバ、ツバメオモト、ツリフネソウ、オトコヨウゾメ、ウラジロノキ、ミヤマニガウリ、キハギ。



図1 燕岳登山記念スタンプ

④ ハイマツとヒメコマツとの関係

6月22日夜、三宅驥一と談す。博士曰く。草野博士は先月 岩代国吾妻山に於いて…ハイマツ林は峰より下り来り、下よりヒメコマツ登り来りて、二つの種類が一点に会合し、或いは二者相交じりて天生せり。而もヒメコマツは頂上近きハイマツに会合する辺りに於いては、その形態は小さく且つ地に匍匐する気味となし、ハイマツの如き形態となれりと云う…依って想像して曰く。ハイマツは昔時下よりヒメコマツが頂上に登り変化してハイマツとなれるたりにあらざるか…と云われたり。

然しながら予はしばらく考える能わず。何となれば…ハイマツは形態との他の点に於いて決してヒメコマツと相同じからず。甲は高山頂に於いて勿論平地に下りて生ずる場合は□も必ず樹幹は直立せずして斜上し或いは真直とる能わず、又乙との間に常に生所なる間隙あるものにして二者接近して生ずる如きは、偶々極稀少なる例外は此の両者の間にシラベ、トウヒ或いはアオトドの帯ありて、両者を離隔するものとす。又両者の形態を精して比較すれば、此れ想像に適中せざるものならん？。

⑤ 有明山の植物帯

有明山の山麓は潤葉樹林帯にてアカマツ林多し。登るに従いて潤葉樹多く、千百米位より針葉樹帯となる。樹種は殆ど全部ツガ林なり。頂上に至りて樹高漸く低く、樹形も高山性を帯び、肥大なる壮大な

る樹形にあらずして、多少屈曲に近き老樹形となる。又実際老樹のもの多きが如し。特に裏面（中房側）にツガの密林絶頂に達し、頂上を蔽う。絶頂に僅かなる開空地ありて高山灌木林を組織す。実に僅少の区域にして十数坪に過ぎざるべし。其の樹種は次の如し。シロバナシャクナゲ、オオバスノキ、ハイマツ（数本）、ダケカンバ、コケモモ、コメツガ、クロベ、イワカガミ、ヒメコマツ、イワナシ、ヒメスゲ、ツリガネツツジ、クロウスゴ、ゴゼンタチバナ、カラマツ（数本）、アカモノ、ヤマハハコ、シラベ（僅か）、ゴヨウマツ？、ナナカマド、ヒメノガリヤス等を生ずるのみ。依って此の山に針葉樹帯中のツガ帯を脱して、漸くシラベ帯達せざるの高度にあるものと云うべきか。或いはシラベ帯と昔時の遺物として現世の森林帯の真正なる位置即ち□□境にあらずして苦境にありて残存せるものならんか。ハイマツ、カラマツに至りては大に然らざるを得ず。全く氷期の遺物とすべきものなり。

下方一千二百米の辺りにて、ムシトリスミレ、ユキワリソウ、イワキンバイ、タカネニガナ、コタヌキラン？、ノギラン、エゾカンゾウ、イワナシ、ムラサキヤシオツツジ、アカツゲ、ウスユキソウ、ツリガネツツジ、イトイ、チャボゼキショウ、イワキトウキ、トウヒレン、キンコウカ、ネバリノギラン、ミヤマオトギリ、オオバスノキ、アカバナシモツケ、イワカガミ、コメツツジ。

○ ダケモミ

燕岳、上高地その他の日本アルプス地方のモミは、ダケモミならんと言う（三好博士）

⑥ 7月25日ー28日まで 釜無山、仙丈ヶ岳、東駒ヶ岳登山

△富士見（3150尺）、白岩岳（2267m）、大岩山（2319）、鋸山（2606）、仙丈ヶ岳（3033m）、北沢峠（2032m）、東駒ヶ岳（2966m）

初めの歩調 草鞋のはき方、先に出ぬ様、遅れぬ様。

7月25日朝 富士見発

タチフウロ、コウリンカ、オカトラノオ、ウツボグサ、ワラビ、ノアザミ、カワラナデシコ、シロトダシバ、カワラマツバ、ヒメジョオン、アカツメクサ、カワラサイコ、クサフジ、

○キンロバイ ハケ岳、金峯山

○ギンロバイ 南アルプス一般、

○黄花フクジュソウ 白岩山のみ

○鋸山の山賊に住みし岩屋あり。上るに一里、シンパク多し。

○河原ヤスミド 29番 諏訪 100番の中

カワラニンジン、ヤマトグサ、ヨシ、アキグミ、コマツナギ、ノカンゾウ、キスゲ、ツユクサ、イタドリ、チャンパギク、タニソバ、イ、

○鋸山の頂上にお花畑あり。ハイマツもあり、然し少し。

○南アルプスは一般にヒメコマツあり、登るとハイマツの生所に至る。シンパクとハイマツ共生することあり。

シナノナデシコ、カワラナデシコ、イワガリヤス、クズ、ボタンヅル、ツリガネニンジン、アカソ、

○白岩山 一名通り天狗 ヤシャブシ、イヌコリヤナギ、カワヤナギ、クサボタン、カワラハハコ、ヤマユリ、ササユリ、――アザミ、ウリノキ、ヤブレガサ、シナノナデシコ、キハギ、△ヨロイラン、ツノハシバミ、イワデンダ、フクロシダ、イワシノブ、ミゾホオズキ、サルナシ、ホタルブクロ、ミヤマハタザオ、ツルネコノメ、タマガワホトトギス、ウツギ、ノリノキ、フジウツギ、サワシバカエデ、エゾハタザオ、

○釜無の石小屋。クガイソウ、キリンソウ、ベンケイソウ、ギボウシ、ヌルデ、ヤマハハコ、タマアジサイ、イワヒバ、コオニユリ、キジムシロ、ピランジ、アカバナ、タニソバ、ヤマブキショウマ、アブラギク、フサザクラ、ヤグルマソウ、ウリノキ、コバノトネリコ、ヨモギ、イヌヨモギ、キヌタソウ、カツラ、エンレイソウ、ヤハズハハコ、ダイコンソウ、ヤブジラミ、ミツバヒヨドリ、ヤマオダマキ、

夏止の淵。イカリソウ、ヤクシソウ、タカネナズナ、ハクサンオミナエシ、カラマツ、

横岳峠にかかる。ミヤマハタザオ、ミヤマスミレ、ハリスゲ、カンスゲ、コミヤマカタバミ、センノキ、ナガバヤナギ、

上る。ツバメオモト、モミジハグマ、マイヅルソウ、コミネカエデ、シロシャクナゲ、カニコウモリ、レンゲショウマ、イチヤクソウ、ギンリョウソウ、ウスユキソウ、シナノキ、ミヤマヒゴタイ？、ヒメイワカガミ、ダイモンジソウ、オニク、ハクサンオミナエシ、ツクバネウツギ、ナナカマド、オガラバナ、ツガ、ヒメコマツ、タケシマラン、フタバラン、ムヨウラン、

横岳峠の頂上。セリバシオガマ、キバナノコマツ

ナギ、ヤマオダマキ、ヒメイワカガミ、ダケカンバ、ゴゼンタチバナ、ハクサンオミナエシ、ヤマハハコ、ウスユキソウ、ナナカマド、ツガ、カラマツ、ミヤマカエデ、アブラツツジ、ウラジロノキ、

横岳峠より下る。ジンヨウイチヤクソウ、コミヤマカタバミ、マイヅルソウ、

赤河原に着く。6時40分。宿所(赤河原)。

ウリカエデ、ハウチワカエデ、ホザキカエデ、イタヤカエデ、イヌシデ、オヒョウ、ミズメ、ヨグソミネバリ、ミズナラ、ニレノキ、ニガキ。

7月26日朝 赤河原出発、北沢峠に上る。

ナナカマド、チョウジザクラ?、ノブキ、イワキンバイ、ヤマブキシウマ、マイヅルソウ、モミジハグマ、サワシバカエデ、ウラジロノキ、タデノウミコンロンソウ、ツガ林、コシアブラ、オオカメノキ、ハウチワカエデ、ヤシオツツジ、コミヤマカエデ、シナノキ、ミヤマヤブタバコ、ミヤマカンスゲ、ミヤマシロソゲ、ホザキイチヨウラン、ウメガサソウ、ムヨウラン、ミヤマフタバラン、アキノキリンソウ、コシアブラ、コミネカエデ、クロベ、ウリカエデ、ウリハダカエデ、ヒメコマツ、ルイヨウシウマ、センジュガンピ、サワギク、ノブキ、コイチヤクソウ、ジンヨウイチヤクソウ、キバナヤマオダマキ、ウド、ヤグルマソウ、タマガワホトトギス、ミヤマウラジロイチゴ、ザリコミ、ズダヤクシュ、コウモリソウ、カニコウモリ、ヤブレガサ、エンレイソウ、ミヤマ——、ゴゼンタチバナ、クルマバツクバネソウ、トゲブキ、ツバメオモト、ナルコユリ、ツルツゲ、ヤハズハンノキ、キソチドリ、

北沢峠頂上より仙丈ヶ岳登山。シラベ、コウヤノマンネングサ、サンカヨウ、タケシマラン、ホソバトウゲシバ、モミジカラマツ、ユキザサ、クロクモソウ、ミヤマガマズミ、キソチドリ、ミヤマワラビ、オオバノヨツバムグラ、セリバシオガマ、オオバスノキ、ミヤマシシウド、コミネカエデ、イネ——、シロバナヘビイチゴ、コフタバラン、クロウソゴ、オオカメノキ、ヒカゲノカズラ、クロツリバナ、ミヤマハンノキ、コケモモ、ツマトリソウ、ヒメイワカガミ、ダイモンジソウ、コガネイチゴ、オガラバナ、ムラサキヤシオツツジ、ナガバスノキ、ウラジロナナカマド、ヒメタケシマラン、トゲブキ、マイヅルソウ、ハイマツ出ず。シナノキンバイ、チシマヒョウタンボク、タカネザクラ、マイヅルソウ、ダケカンバ、タカネナナカマド、オガラバナ、ミネズオウ、コメバツガザクラ、キバナシャクナゲ、ミヤマキン

バイ、コイワカガミ、ヒメイワカガミ、ミヤマコウボウ、クロマメノキ、コメススキ、ウラシマツツジ、ヒメスゲ、オオバスノキ、イワベンケイ、ガンコウラン、

仙丈ヶ岳絶頂の植物。ミヤマキンバイ、ウシノケグサ、タカネヒゴタイ、ミヤマコウボウ、ウラシマツツジ、コケモモ、ガンコウラン、イワスゲ、タカネツメクサ、オヤマノエンドウ、チシマギキョウ、ミヤマシオガマ、イワベンケイ、ハイマツ、キバナシャクナゲ、ミネザクラ、チングルマ、チャボゼキショウ、ヒメクワガタ、オオツガザクラ、イブキトラノオ、イワツメクサ、ハクサンイチゲ、

北沢の頭に宿る。ミヤマアザミ、タデノウミコンロンソウ、ハンゴンソウ、モミジイチゴ、エゾセンキュウ、ナナカマド。

7月27日 出発(仙水峠に向かう)。

ミヤマオトギリ、ミヤマドジョウツナギ、ミヤマオトコヨモギ、イワニガナ、キバナノコマノツメ、

仙水峠より東駒ヶ岳へ。ミヤマコゴメグサ、ヒメシャジン、タカネニガナ、タカネバラ、キバナノコマノツメ、コメツツジ、ハイマツ、カラマツ、シンパク、以上その混交林、ハクサンオミナエシ、ハナヒリノキ、タカネナナカマド、セリバシオガマ、トウヤクリンドウ、ミヤマキンバイ、トウヒ。

仙水頂の頂上。古成層の岩石大小、径5, 6寸—1, 2尺—4, 5尺—6, 7尺。その累々として傾斜面を保った岩野をなす。

岩面にはチズゴケ、アカサビゴケ、オオイボゴケ、タカネイワタケ、ハナゴケ、ヒメハナゴケ、ハイマツゴケ、キダチキゴケ、ジモフリゴケ、ミヤマカラタチゴケ、ウシノケグサ、ヒメスゲ、

ハイマツ林あり。シロバナシャクナゲ、コメツガ、カラマツ(高山形)、トウヒ、シラベ、ミヤマハンノキ、ダケカンバ、コケモモ、オオバスノキ、

仙水に下る。キバナシャクナゲ、チングルマ、オヤマリンドウ、アキノキリンソウ、クロマメノキ、バイケイソウ、ハンカイソウ、ツマトリソウ、コバノエイランタイ、トゲハナゴケ、ヒメハナゴケ、ナギナタゴケ、ゴゼンタチバナ、ラッパゴケ、キゴケ、ツガザクラ、

前峰の頂上。キバナシャクナゲ、コケモモ、ツマトリソウ、トウヤクリンドウ、

ハイマツ林をなす頂上まで。頂上近くに岩石帯あり。地衣類これに付着せり、多くは下方のもの。

東駒ヶ岳絶頂。ミヤマヌカボシソウ、ミヤマキン

バイ、ハイマツ、ウシノケグサ、タカネツメクサ、イワスゲ、ウラシマツツジ、キバナノコマノツメ、タカネヒゴタイ、ミヤマコウボウ、タカネズメノヒエ、コケモモ、コメススキ、ミヤマハンノキ、下る。ムカゴトラノオ、クロユリ。

7月27日夜。東駒ヶ岳県設小屋に宿る。此の辺、地衣類非常に多く、殆ど地衣帯の観あり。

7月28日 小屋出発。鋸岳登山、七ツ釜に下る。

7月28日夜8時半 富士見駅着。11時下りにて帰松。

7月29日午前2時半 帰宅。

7月29日午後7時12分 北海道、樺太行、採集に出発す。

⑦ 大正10年9月3日 松本発。筑摩山脈最高部縦走。

松本郊外。オナモミ、ツルフジバカマ、コゴメガヤツリ、トキンソウ、ヨメナ、コウゾリナ、ヌカボ、マツカサススキ、ウメバチモ、

入山辺。ネバリタデ、カワタデ、イシミカワ、ツユクサ、ツルソバ、

山に入る。コマツナギ、一一ハギ、ゲンノショウコ、カワラサイコ、アキノタムラソウ、クルマバナ、アカソ、オトコエシ、フタバハギ、オランダガラシ、カワラナデシコ、イノコヅチ、ヌスビトハギ、セリ、ツリフネソウ、エゾオオセンキュウ、ダケゼリ？、ママコノシリヌグイ、ギシギシ、イタドリ、ミゾソバ、ヤブマメ、ウマノミツバ、ニガイチゴ、ノブドウ、エビヅル、タマアジサイ、ノエンドウまたはイタチササゲ、ハナイカリ、ベンケイソウ、ノガリヤス、コウガイゼキショウ、キンミズヒキ、ダイコンソウ、フジバカマ、アキノウナギツカミ、ノアザミ、タニセリモドキ、ムラサキエノコロ、カナヨシ。

明治25—26年頃に消失せりといえども、王ヶ鼻の岩石下には一面にハイマツ林ありしと云う。大野火と云う。□□ころ石灰を焼くに□岩を来たす。□岩を出る□□□大森林を焼け尽くせり。□□を焼け出して針葉樹を全部やき尽きせり。七日間焼きつくせり。八日目に降雨ありて消えたりと云う。少しもけすことなきしものなり。

皆此の二、三尺の大木は焼けたれも、その切ることなりし□□□たりと云う。

干枝が20□□つづき、此に火を入れたるよし。

陣が坂に偃松一本残れり。原田吉十（南方村）出向き大部ありしものを、明治20年頃に切りて炭に

焼きしものだが、一本だけ残したり。現在も三代原館山（家）逐平・老平（牧場となる）平石をとる所あり。牧場の東南方にあり。□崖をなして野火焼けし所には青木残れるが、芝中に平石とり場の附近に数本のハイマツを認むと云う。

村岡□氏が出せり平石（板石）帳附（牧場）西方に小山あり。□□こそハイマツ僅かありと言う。

一人でも消したるものなし。□く見えるな一。野火見に行こうなどと云う人あり。一つやければ、□□□もえるなどと云う馬鹿あり。□□□云うと無理があると思う。□らじなり。盗伐も盛んに行い□□う。

山辺さつまの守の小城ありし下方の□□石垣の跡残れり。上手町にあり。今は雨の宮（雨の明神様と云う）。船附（入山辺第一発電所の側）と云う。堤（つみ）石二十間あり。泉小太郎□りものと云う。

深瀬は一一深志→松本となる。

入山辺桐原に海岸寺と云う寺の跡あり。元の湖岸ありと云う。

△時事画覧に少々□せり。

御高官林（扇の湯より山□にかけて西方にあけてあるもの）にモミ、トウヒの類ありて、其中にヒメコマツ多くして太さ径一、二尺よりあり。上に登る従い小形となり、頂上に至れば矮樹となり、あたかもハイマツと同一形となると云う。或いはハイマツの原種によらざるか？と思れる。

陣が坂の松を調査する必要あり。然し、王ヶ鼻にはハイマツありしは確実なり。

平石取りの松はヒメコマツにあらざるかと思われる。

9月4日 牧場発登山、茶白山、陣ヶ坂峠

牧場。スミレ、タチツボスミレ、クルマバナ、アケビ、カワラサイコ、クサボタン、ズミ、シバクサ、カラマツソウ、ミズギボウシ、タラノキ、ゴボウアザミ（ヤマボクチ）、マルバノチョウリョウソウ、ヒルガオ、マツムシソウ、ツリガネニンジン、キンミズヒキ、ノイバラ、オオバコ、ナワシロイチゴ、マルバサンキライ、ダイコンソウ、ヒメムカシヨモギ、メヒシバ、イヌタデ、ノアザミ、ニワヤナギ、ウツボグサ、コンギク、シシウド、シロツメクサ、ナズナ、アカザ、アカバナ、ヤブジラミ、

牧場発。ミヤマタニタデ、キンボウゲ、ツリフネソウ、ホタルブクロ、タケニグサ、トウバナ、ツユクサ、ヨモギ、チモシー、シャジクソウ、イカリソウ、オニツツジ、イチゴツナギ、オトコヨモギ、ヘ

ビイチゴ、コウヤワラビ、

溪流あり。クロクモソウ、アカバナ、クリンソウ、エゾオオセンキュウ、ミゾソバ、キツネノボタン、アキノウナギツカミ、イヌタデ、ウツボグサ、フウロソウ、ギシギシ、イヌコリヤナギ、ヤマネコヤナギ、クサフジ、ノアザミ、アカマツ、コナラ、スギナ、

落葉松林。ナンバンハコベ、ミミナグサ、ネバリタデ、マルバノホロシ、シロバナツリガネニンジン、クヌギ、キハダ、ハンゴンソウ、ヤマドリゼンマイ、チョウセンゴミシ、ボタンヅル、ウツギ、ノコギリソウ、ネコノメソウ、オオトリトマラズ、シオデ、カンボク、サナギイチゴ、チョウリョウソウ(大形花)、アキグミ、ヤマハハコ、イワニガナ、ツルネコノメソウ、ニワトコ、エゾボウフウ、ヤマブドウ、イボタヒョウタンボク、イボタ(ミヤマ?)、モミ、タンポポ、ウメガサソウ、ハクサンフウロ、ハシバミ、ニッコウウツギ、クロウメモドキ、ミズナラ、ツノハシバミ、ヤマヌカボ、タニソバ、イノデ、ヤエムグラ、――アカバナ、オトギリソウ、タニソバ、クロクモソウ、ゴマナ、サワギク、チャルメルソウ、タニセリモドキ、ウマノミツバ、ツメゴケ、オオダイコンソウ、ミヤマモジズリ、イワノリ、ツナゴケ、コウヤノマンネンズギ、クサボタン、イブキボウフウ、シロバナヘビイチゴ、ハクサンフウロ、ノミノツツリ、クロベ、ヒノキ、モミ?、アキカラマツ、カラスノチャヒキ、ルリソウ?、クリンユキフデ、イタヤカエデ、ニッコウコウモリ、ハコネウツギ、ミヤマタニタデ、ウシノケグサ、シナノシモツケ、ハシドイ?、クロカンバ、ミヤマハンショウヅル、チョウジザクラ、ミヤマトウバナ、コバノトネリコ、ウシノケグサ、マタタビ、ハウチワカエデ、オガラバナ、ヤマオダマキ、ナツノタムラソウ、ノリノキ、ノブキ、モミ、イグサ、ヒノキ、トモエソウ、クルマバナ、ヨメナ、タニタデ?、ボタンヅル?、クサボタン、オオヤマフスマ、

△右 陣ヶ坂、左 百曲がり。カワラナデシコ、ウスユキソウ、クガイソウ、キバナヤマオダマキ、ソバナ?、イラクサ、ヤマトリカブト?、ウド、タガネソウ、ミヤマシシウド、ヨロイゴケ、キツリフネ、アキノキリンソウ、ネズミガヤ、ゴマナ、キリンソウ、ツメクサ?、トリアシショウマ、フジオトギリ?、ウスユキソウ、ソバナ、シオガマギク、ヒメノガリヤス、ヌスビトハギ、ヤマツツジ、アキノキリンソウ、クガイソウ、ミヤコザサ、ツガ、ヤマハハコ、ダケカンバ、ドウダンツツジ再調!、ハナイカリ、シラカンバ、ミヤマワラビ、ニガナ、リョ

ウブ、イヌエンジュ、タカネザクラ、コミヤマカタバミ、マイヅルソウ、スノキ、オオカメノキ、ナナカマド、キタツキゴケ、イワガラミ、

頂上。コケモモ、ハクサンオミナエシ、コメツガ、タチコゴメグサ、ハナイカリ、シュロソウ、ナギナタコウジュ、ウシノケグサ、ミヤマヌカボ、

頂上ハイマツの出る所。ハイマツ、ハクサンオミナエシ、イワキンバイ、タカネニガナ、コメツガ、トウヒ、ダケモミ、コメツツジ、マツムシソウ、ヒメノガリヤス、ウシノケグサ、ウスユキソウ、ヤマブキショウマ、タチコゴメグサ、ヤマハハコ、アキノキリンソウ、コケモモ、ナナカマド、キダチゴケ、ヒメシャジン、ハナイカリ、イワデンダ、フジオトギリ、ミヤマシシウド、メイゲツソウ、シラカンバ、ダケカンバ?、ミヤマバラ、サルオガセ、スノキ、ミヤコザサ、ウメバチソウ、エゾスズラン、ニガナ、トウヒレンの――、エゾムカシヨモギ、ヤマニガナ、コウリンカ、ギボウシ、マンネンズギ、ノリノキ、キバナノコマノツメ、ツリガネツツジ、ハクサンフウロ、シナノトウヒレン、ダイモンジソウ、

△第三岩石。ミヤマウラジロイチゴ、ダイモンジソウ、フクロシダ、ミネカエデ、ツルツゲ、ミズキ、ミヤマオトコヨモギ、ヒメアカバナ、キバナノコマノツメ、ホタルブクロ、ウシノケグサ、ヒメシャジン、マツムシソウ、メイゲツソウ、ヒメノガリヤス、ヤマブキショウマ、イワキンバイ、キジムシロ、ウツボグサ、シオガマギク、タチコゴメグサ、ウスユキソウ、ナギナタコウジュ、コウゾリナ、ハナゴケ、ハクサンフウロ、クサボタン、テガタチドリ、ズミ、ウツボグサ、ウメバチソウ、キリンソウ、ミヤマハタザオ。

10月1日 南安平野、山地採集 穂高村

トウバナ、コンギク、ヨメナ、タウコギ、ミゾソバ、スズメノヒエ、ヨモギ、カゼクサ、イヌタデ、ムラサキエノコロ、エノコログサ、メヒシバ、アキノウナギツカミ、ツユクサ、チカラシバ、ノブドウ、イヌビエ、メナモミ、ガガイモ、アカネ、オオカモメヅル、ツルウメモドキ、イノコヅチ、イヌハギ、ウシクグ、バイカモ、ネコヤナギ、ヒメクグ、ヒデリコ、キンミズヒキ、サヤヌカグサ、クグガヤツリ、エノキグサ、アオウシノケグサ、ハッカ、オオネズミガヤ、タチヤナギ、ヒメジソ、イヌコウジュ、トウバナ、タカサブロウ、キツネガヤ、イヌビユ、コブナグサ、イヌガラシ、スカシタゴボウ、カワラケツメイ、カヤツリグサ、フシグロ、アカソ、ゲンノショ

ウコ、アブラガヤ、オオアブラガヤ、ヤマシロギク、ノダケ、ヌスビトハギ、ツリフネソウ、アオツヅラフジ、キンエノコロ、ウシノシッペイ、ハナビガヤ、マキエハギ、タニセリモドキ、ネナシカズラ、ナンバンハコベ、ノアザミ、ニシキギ、クサネム、ヘクソカズラ、トダシバ、クルミ、オギ、ススキ、ヨシ、オガルガヤ、メガルガヤ、リンドウ、オグルマ、サワヒヨドリ、フジバカマ、クグガヤツリ、ユウガギク、ママコノシリヌグイ、

西穂高小学校に休む。昼食。センブリ、アキノキリンソウ、オトコヨモギ、メドハギ、ケヤマナラシ、マツムシソウ、マルバサンキライ、ヤマシロギク、カワラケツメイ、オトギリソウ、ウツボグサ、カワラナデシコ、ミヤマママコナ、コシオガマ、ヒメハギ、アリノトウグサ、テンツキ、イブキジャコウソウ、オオマツヨイグサ、オトギリソウ、オミナエシ、ウシクサ、イヌコリヤナギ、

○クヌギ林なり。シドミ、ウマノアシガタ、エノキグサ、スイカズラ、ジシバリ、(トリカブト)、(ヤブサンザシ)。

大正 11 年度 (春、4 月始め—5 月末まで)

(1) 4 月 16 日 (犬塚氏と共に) 千鹿頭 広沢寺採集

イブキスミレ、タデノウミコンロンソウ、エンコウソウ、ニリンソウ、コバノツルマサキ、ヒカゲスゲ、アズマイチゲ、セツブンソウ、ダンコウバイ (クロモジ?), ゴリンバナ、ヒメビル、コスミレ、タチツボスミレ、ヤブラン、キバナノアマナ、ナンキンナナカマド、ヤブエンゴサク、カヤ、ツルリンドウ、トラノオシダ、ヤマブキ、シシガシラ、ヒカゲノカズラ、タチツボスミレ、ツルマサキ、

谷を越せり、ハナヤスリ、ヒカゲスミレ、シラヒゲソウ、トキソウ、ザゼンソウ。

○ 波田官林中 コケモモ、シラタマノキ、ツルアリドオシ、x スミレ (シハイスミレのものか)。

○ 塩尻の山 (西方) ナガバシハイスミレ、イワウチワ。

○ 上諏訪神社の山 キクバスミレ、フジスミレ。

(2) 大正 11 年 4 月 22 日 入山辺村山地

オニタビラコ、ジュウニヒトエ、カキドオシ、キンボウゲ、サギゴケ、コスミレ、タチツボスミレ、タンポポ、スズメノヒエ、トウダイグサ、ヌカボシソウ、センボンヤリ、イブキスミレ、ゲンジスミレ、

シダレヒガン、カテンソウ。

(3) 4 月 29 日 (宮地氏と共に) 松本発午前 7 時
上諏訪行 神宮寺

上諏訪停車場其面 海拔 2500 尺

ヤマブキソウ、キクバスミレ、タチツボスミレ、イブキスミレ、フイリヒナスミレ、ヒナスミレ、アケボノスミレ、エゾスミレ、フギレヒナスミレ、フジスミレ、ヒカゲスミレ、ミヤマエンレイソウ、コキンバイ、セントウソウ、ネコノメソウ、フタバアオイ、ヤマブキ、ケヤマザクラ、ニリンソウ、イチリンソウ、ホトトギス、トチノキ。

上諏訪 唐沢下にて (千野氏と共に)

キクバスミレ、ヒゴスミレ、ケマルバスミレ、アカネスミレ、スミレ、コマノツメ、アケボノスミレ、サクラスミレ、ニオイタチツボスミレ、タチツボスミレ、ヒカゲスミレ、ゲンジスミレ、イブキスミレ。

(4) 5 月 7 日 木曾谷行 (宮地氏と同行)

葦原尋常小学校 (木祖村木祖) 小林左一郎、坪田長雄

エゾスミレ、アカネスミレ、ツボスミレ、ヒカゲスミレ、ケマルバスミレ、フジキ、ミヤマキリシマ、(モンフタバアオイ)、ミヤマネコノメ、コガネネコノメ、ネコノメソウ、マルバコンロンソウ、ミヤマエンレイソウ、ワサビ、ムラサキケマン、キケマン、ラショウモンカズラ、カキドオシ、チゴユリ。

(5) 5 月 12 日 東城山まで、一千鹿頭—松本

アオイスミレ、ヒカゲスミレ、キハギ、コンロンソウ、クロウメモドキ、カマナシシモツケ、キンギンボク、ミツバウツギ、ツノハシバミ、エゾノタチツボスミレ、アカネスミレ、イブキスミレ、イヌコリヤナギ、カワヤナギ、ネコヤナギ、ズミ、コリヤナギ、ミヤマハタザオ、ホソバキリンソウ、ツボスミレ、

薄の宮。アオイスミレ、キクムグラ、センノキ、ナギナタガヤ (イトカモジグサ)、ミズヒキ、ハナビガヤ。

(6) 大正 11 年 5 月 13 日 戸谷峯より三才山峠迄縦走

①浅間峠にて タチフウロ、タガネソウ、ヌカボシソウ、ヤマツツジ、キジムシロ、イカリソウ、フデリンドウ、イワニガナ、タカサゴソウ、

②三才山村 ミサヤマスミレ、タチツボスミレ、イ
タチガヤ、タガソデソウ、エゾノタチツボスミレ、
コクサギ、ヒメハギ、アカネスミレ、オニタビラコ、
スズメノヒエ、ノイバラ、スカンボ、コナラ、キン
ポウゲ、フデリンドウ、ウメモドキ、ズミ、ラショ
ウモンカズラ、イタチササゲ、ギシギシ、セリ、フ
キ、アケビ、ツボスミレ、クサノオウ、アカソ、イ
ワデンダ、ホソバノキリンソウ、ベンケイソウ、イ
ブキスミレ、アカネスミレ、ハナビガヤ?、ゲンジ
スミレ、ミツバアケビ、メギ、タラノキ、

頂上。ウグイスカグラ、オクチョウジザクラ、ダ
ンコウバイ、フデリンドウ、ミヤマザクラ、ヤマブ
キ、キジムシロ、ハウチワカエデ、イブキトラノオ、
ニリンソウ、クルマバソウ、タチフウロ、レンブク
ソウ、タチツボスミレ、タガネソウ、トチノキ、ツガ、
アカマツ、バッコヤナギ、コキンバイ、ミヤマハタ
ザオ、イヌナズナ、シナノシモツケ、ズミ、ハクサ
ンサイコ?、グンナイフウロ?、ウシノケグサ、カ
ワラナデシコ、リュウノウギク、ミヤマザクラ、イ
ワキンバイ、ミヤマエンレイソウ、アマナ、イタヤ
カエデ、イワデンダ、カンボク、オオカメノキ、チ
ズゴケ、トコブシゴケ、カラクサゴケ、カラタチゴ
ケ、アワビゴケ、ヒゲゴケ、アカサルオガセ、サル
オガセ、カラクサゴケ、ジョウゴゴケ。

(7) 5月20日 須砂渡行き 松本一島内一中ヶ谷一
堀金一須砂渡一東穂高

ウバユリ、ゼンマイ、イヌコリヤナギ、ヤマドリ
ゼンマイ、キジムシロ、クマザサ、ヤマウルシ、ニ
ガナ、タカサゴソウ、スギナ、ショリマ、ムラサキ
フジ、スノキ、ノウルシ、ナツトウダイ、ヨモギ、
ミツバウツギ、ツタウルシ、ヒカゲノカズラ、ツク
バネウツギ、ヤマツツジ、レンゲツツジ、カンスゲ、
シバスゲ、ナルコスゲ、アゼスゲ、ヒメスゲ、タニ
スゲ、チゴユリ、タネツケバナ(エゾ)、ミヤマエ
ンレイソウ、ナルコユリ、オドリコソウ、ツボスミレ、
タチツボスミレ、スミレ、タカネスミレ、ヒョウタ
ンボク、チダケサシ、アゼナルコ、トコロ、ヒメハギ、
オトギリソウ、ノアザミ、コナラ、ズミ、ノリノキ、
コウボウ、サギゴケ、シロネ、クララ、ヌカボシソウ、
アスヒカズラ、カキドオシ、イタドリ、ワラビ、キ
イチゴ、ヤマブキ、ギボウシ、ショウジョウバカマ、
マルバサンキライ、トラノオ、ヤブスゲ、ヒカゲスゲ、
シシガシラ、オサシダ、ムラサキケマン、タマアジ
サイ、シュロソウ、タチカメバソウ、テンナンショ
ウ、ナルコユリ、イ、タガソデソウ、ミヤマガラシ、

ウリカエデ、リョウブ、ウリハダカエデ、イヌツゲ、
イノデ、メンマ、タケニグサ、クサノオウ、ソヨゴ、
ノブキ、タガネソウ、ニガイチゴ、モミジハグマ?(?
オヤリハグマ)、シオデ、サルトリイバラ、アカマツ、
タンポポ、クヌギ、ニシキギ、チドメグサ、イワカ
ガミ、マイヅルソウ、ヤマオダマキ、ノギラン、モ
ウセンゴケ、クヌギ林中にヒメイズイ。

(8) 大正11年5月20-21日 松本一扉鉢泉一扉
峠一茶臼山一美ヶ原一王の頭一武石嶺一武石峠一袴
腰山一浅間一松本。同行者 岡田要之助・沢田武太郎。

20日 扉鉢泉一松本間。タカサゴソウ、スミレ、
タチツボスミレ、アカネスミレ、ツボスミレ、ニガナ、
ジシバリ、キツネアザミ、ヒレアザミ、ミヤマハコベ、
ヤエムグラ、タガソデソウ、ノミノフスマ、ノミノ
ツヅリ、オニツツジ(=レンゲツツジ)、ヤマツツジ、
カワヤナギ、タチヤナギ、イヌコリヤナギ、セント
ウソウ、ヤブニンジン、ウマノミツバ、ミツバウツ
ギ、ヘビイチゴ、ヘビノダイハチ(=マムシグサ)、
フタバアオイ、キジムシロ、

扉鉢泉一扉峠間。ミヤマザクラ、ザイフリボク、
カマツカ、ミツバカエデ、ブナ、イヌブナ、マンサ
ク、アサダ、シラカンバ、ヤマツツジ、ズミ、スミ
レ、アカネスミレ、アケボノスミレ、エイザンスミ
レ、サクラスミレ、コミネカエデ、ハウチワカエデ、
コハウチワカエデ、イタヤメイゲツ、ケヤマザクラ、
ワラビ、ミヤマエンレイソウ、イトスゲ、チゴユリ、
アオチドリ、ツリガネツツジ、コヨウラクツツジ、
ワダソウ、

扉峠一茶臼山。タカネザクラ、ヤシャブシ、ダケ
カンバ、キジムシロ、◎地衣類、カラタチゴケ、ミ
ヤマカラタチゴケ、バンダイノキノノリ、アカサ
ルオガセ、サルオガセ、ミヤマサルオガセ、カラク
サゴケ、アワビゴケ、カワイワタケ?(扉鉢泉)、
ヒゲゴケ、リボンゴケ、ヒメリボンゴケ、カブトゴ
ケ、ツメゴケ、ヒロツメゴケ、ヨロイゴケ、オオイ
ボゴケ、ハリガネキノリ、ホネキノリ、

ハイマツ生所。ヤマビコノリ、

武石嶺頂下(手前)、エイランタイモドキ、アカ
ミゴケ、コアカミゴケ、コバノエイランタイ、ウグ
イスゴケ、ハナゴケ、ワラハナゴケ、ヒメワラハナ
ゴケ、ジョウゴゴケ、レンゲゴケ?、トウゴクゴケ、
チズゴケ。

○ 樺太鈴谷山登山計画(1/2 p.省略)

○ 小樽発 稚内着汽船 予定表(1p省略。)